

日本木材学会北海道支部・平成30年度（第50回）研究発表会 開催報告

北海道支部代表 森 満範（北海道立総合研究機構 林産試験場）

【開催概要】

平成30年10月24日（水）に、（地独）北海道立総合研究機構 林産試験場（以下、林産試験場）において、日本木材学会北海道支部・平成30年度（第50回）研究発表会を開催しました（林産試験場との共催）。

今回は第50回の研究発表会ということで、これまで50年間、研究発表の歴史を積み重ねてきた事に対して感慨深い思いとともに、第50回という記念すべき会を林産試験場で開催できたことは、一林産試験場職員としても大変嬉しく思いました。

口頭発表、展示発表ともに林産試験場の講堂で行い、参加者70名のなか、口頭発表6件、展示発表7件、合計13件の発表がありました。当日は、日本木材学会会長の福島和彦先生（名古屋大学教授）にもご出席いただき、発表会への参加、および発表のご講評もいただきました。



口頭発表



展示発表

北海道支部では毎回、口頭発表および展示発表の中からそれぞれ1件ずつ、来場した支部会員の投票により最優秀賞を選考し、「北の木材科学賞」として表彰していますが、今回の受賞者は以下のとおり決定され、授与式が行われました。受賞者の皆様、おめでとうございます。今後のご活躍を期待しております。

◆北の木材科学賞（口頭発表部門）（敬称略）

○平良尚梧，幸田圭一，浦木康光（北大院農）

「電気二重層キャパシタ用セパレータとしてのセルロースナノファイバー強化リグニンポリエステルフィルム」

◆北の木材科学賞（展示発表部門）（敬称略）

○玉木健也，佐野雄三，荒川圭太，山岸祐介（北大院農）

「カツラ・ハルニレの組織培養を用いたクローン繁殖法の検討」

研究発表会終了後、市内で開催した懇親会には43名が参加し、参加者同士の交流を深めるとともに、来年3月に開催される日本木材学会函館大会に向けての結束を固めることができました。



福島 木材学会会長による講評



「北の木材科学賞」授与式

【 発表課題 】

<口頭発表>

O-1) 上川産ケヤマハンノキの材質評価

○大崎久司, 村上了, 秋津裕志, 佐藤真由美, 渡辺誠二 (道総研林産試)

O-2) ハイブリッド化による屋外木質構造物の高耐久化技術

小林裕昇 (道総研林産試)

O-3) 水掛かり処理が木質複合軸材料の力学特性に及ぼす影響

○石原亘, 古田直之, 大橋義徳, 高梨隆也 (道総研林産試), 李元羽, 成田敏基, 朴智秀 (全国 LVL 協会)

O-4) クリープ関数により評価したカラマツ CLT のクリープ限度

○高梨隆也, 大橋義徳, 石原亘, 松本和茂 (道総研林産試)

O-5) ブロック状の道産カラマツ CLT に作用する応力方向と各種強度の関係及び破壊性状に関する実験的研究

○横山梓織, 植松武是 (北海学園大学), 石原亘, 大橋義徳, 高梨隆也 (道総研林産試), 掛悟史 (竹中工務店)

O-6) 電気二重層キャパシタ用セパレータとしてのセルロースナノファイバー強化リグニンポリエステルフィルム

○平良尚梧, 幸田圭一, 浦木康光 (北大院農)

<展示発表>15:10-16:00

P-1) 当麻町産材を活用した木製学習機の製作・管理支援について

○伊藤洋一, 大西人史 (道総研林産試), 山田健四 (道総研森林研究本部)

P-2) 針葉樹合板の寸法安定性に及ぼす単板積層数の影響

○古田直之, 平林靖 (道総研林産試)

P-3) 30年間屋外使用された集成材の耐久性評価 (第1報) 採取部位ごとのせん断強度の比較

○中村神衣, 古田直之, 宮崎淳子, 平林靖 (道総研林産試)

P-4) 長ビスを用いた道産 CLT 壁-床接合部のせん断性能

○富高亮介, 戸田正彦 (道総研林産試)

P-5) 道産きのこの孢子欠損型変異による食味の変化

○齋藤沙弥佳, 米山彰造 (道総研林産試), 東智則 (道総研本部), 佐藤真由美 (道総研林産試), 富山隆広 (㈱スリービー), 松本晃幸 (鳥取大農)

P-6) 木質バイオマス燃焼灰の活用に向けた検討 (2) -無機微量元素の含有量分析-

○折橋健, 安久津久 (道総研林産試), 丹羽忍, 大塚英幸 (道総研環科研)

P-7) カツラ・ハルニレの組織培養を用いたクローン繁殖法の検討

○玉木健也, 佐野雄三, 荒川圭太, 山岸祐介 (北大院農)